

平成27年度猫務庁職員採用冬期試験

受験状況・正答及び出題趣旨

平成28年3月8日

同人団体猫務庁

1. 受験状況

試験区分	出願者数	合格者数 ^{※1}	無効な出願数 ^{※2}
一般猫務行政事務 (一般職)	4	1	3
一般猫務行政事務 (制服区分)	2	0	2

※1 合格者の呼出符号等は、3月9日付の公報に掲載します。

※2 出願資格を欠く者の出願、欠格事由に該当する者の出願、その他瑕疵のある出願の合計数。

(参考) 平成27年度実施要項より抜粋

第3 受験資格・欠格事由

(1) 本採用試験の実施公告時において、短文投稿サイト (Twitter) において試験実施者 (@nrnk_jp) をフォローしている者

(2) 次に掲げる者は受験することができません。

ア 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力によって破壊することを主張する政党その他の団体を結成し若しくはその団体に加入した者

イ 当庁から懲戒免職の処分を受け当該処分の日から2ヶ月を経過しない者

ウ 動物の愛護及び管理に関する法律 (昭和48年法律第105号) に違反し、禁錮 以上の刑に処せられた者

エ 現に当庁の職員 (臨時的職員を除く) である者

オ 現に当庁が所管する法猫等の役員又は職員である者

カ 現に架空官庁等 (猫務庁を除く) において猫に関する業務に従事している者又は前記業務を離れてから1ヶ月を経過しない者

2. 共通科目問題の正答

【問題1】「猫務庁」の読みとして正しいものを選びなさい。

- (選択肢) 1. ねこむちよう 2. ひょうむちよう
 3. ねこむよう 4. びょうむちよう

(正答) 4. びょうむちよう

【問題2】次の問題の正誤を判定しなさい。

- ① 猫務庁の創設年は平成24年である
- ② 樺太府の府章は人鳥の足に嘴である。
- ③ みなし美少女制度は、架空官庁等の職員について概ね10代の美少女とみなす制度である。
- ④ コアラ擁護庁は架空内閣の下に置かれた機関である。

(正答) ①正しい ②正しい ③正しい ④誤り

【問題3】猫務庁に関する説明として誤っているものを選びなさい。

(選択肢)

- 1. 猫務庁には創設当初、交通局が存在した。
- 2. 猫務庁は、創設以来2回にわたって同人即売会にサークル参加している。
- 3. 創刊以来の「ニャリスト」寄稿者数は延べ20名を超える。
- 4. 猫務庁のモデルとなった官庁や団体は複数あるが、中でも最も参考にされたのは「中小企業庁」である。

(正答) 4. 猫務庁のモデルとなった官庁や団体は複数あるが、中でも最も参考にされたのは「中小企業庁」である。

3. 専門科目問題の出題趣旨等

【一般職】

○次の3題から1題を選び、解答しなさい。なお、選択した問題の番号を明記すること。

【問題A1】寿司債権の定義について論じなさい。

【問題A2】ポンチ絵について説明しなさい。

【問題A3】架空官庁の職員採用は各庁が個別に実施しているが、中でも猫務庁は採用にあたって試験を課している。猫務庁が試験を課す理由を考察しつつ、これについてあなたの考えを述べなさい。

(出題趣旨)

【問題 A1】 寿司債権についての基本的な理解を問う。

【問題 A2】 いわゆるポンチ絵についての一般的な理解を問う。

【問題 A3】 架空官庁における人事制度についての基本的な理解を問う。

【制服区分】

○次の3題から1題を選び、解答しなさい。なお、選択した問題の番号を明記すること。

【問題 B1】 あなたの好きな制服（ジャンルは問わない）を挙げ、その特色を説明した後、その制服が企業や団体においていかなる役割を果たしているか考察しなさい。

【問題 B2】 リボンとセーラースカーフの結び方をそれぞれ説明しなさい。

【問題 B3】 Please discuss about pleating of the school skirt in Japanese.

(出題趣旨)

【問題 B1】 制服の三大機能についての理解を問う。

【問題 B2】 制服の構造に関する一般的な理解を問う。

【問題 B3】 学校制服におけるスカートひだの形状の分類について基本的な理解を問う。

【問題】

次の文章のうち、国内制服業界に関する説明として誤っているものを選びなさい。

(選択肢)

1. ユニフォーム製造を地場産業とすることで知られる岡山県児島地域は当初、足袋や帯を製造していた。
2. 第二次世界大戦中、制服統制により需要が減少した学生服は、戦後 1947 年に復活を果たした。
3. 4 大学生服メーカーのうち、唯一本社が岡山県にない企業は菅公学生服である。
4. 戦前から研究が続けられた初の純国産合成繊維「ビニロン」の発明は、京都大学と倉敷レイヨン（現在のクラレ）による産学連携の成果である。

(正答) 3. 4 大学生服メーカーのうち、唯一本社が岡山県にない企業は菅公学生服である。

(出題趣旨) 我が国制服産業に関する基礎的な理解を問う。

以上